

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2009-41866(P2009-41866A)

【公開日】平成21年2月26日(2009.2.26)

【年通号数】公開・登録公報2009-008

【出願番号】特願2007-208819(P2007-208819)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/04 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/04 G

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

収容物を支える第 1 底板と、

上記第 1 底板から立ち上がるように延びるとともに、上記第 1 底板上における面上空間の少なくとも一部を囲い込む第 1 外壁と

上記面上空間を隔てており、その隔てた箇所から延びて上記面上空間の外周の一端に至る方向を第 1 方向とし、その第 1 方向の反対側に延びることによって面上空間の外周の別端に至る方向を第 2 方向とすると、上記の隔てた箇所から第 1 方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第 1 間隔を、上記の隔てた箇所から上記第 2 方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第 2 間隔よりも短くする第 1 仕切り片と、

上記第 1 仕切り片から間隔を空けつつずれて位置することで、上記面上空間を隔てており、その隔てた箇所から上記第 1 方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第 3 間隔を、上記の隔てた箇所から上記第 2 方向側に向かって面上空間の外周に至るまでの第 4 間隔よりも長くする第 2 仕切り片と、

を、含む収容箱。

【請求項 2】

上記第 1 仕切り片と第 2 仕切り片との間隔を乖離開口面とし、

上記乖離開口面に接し、かつ上記第 1 底面につながる上記第 1 仕切り片の縁を第 1 側縁とするとともに、上記第 1 側縁から上記第 1 方向側に向かって上記面上空間に至るまでの仮想面を第 1 仮想面とすると、

上記第 1 仕切り片および上記第 2 仕切り片によって隔てられる第 1 方向側の面上空間である主第 1 空間は、上記第 1 仮想面によって、上記第 1 間隔を含む副第 1 空間と、上記第 3 間隔を含む副第 3 空間とに隔てられる請求項 1 に記載の収容箱。

【請求項 3】

上記第 1 仕切り片と第 2 仕切り片との間隔を乖離開口面とし、

上記乖離開口面に接し、かつ上記第 1 底面につながる上記第 2 仕切り片の縁を第 2 側縁とするとともに、上記第 2 側縁から上記第 2 方向側に向かって上記面上空間に至るまでの仮想面を第 2 仮想面とすると、

上記第 1 仕切り片および上記第 2 仕切り片によって隔てられる第 2 方向側の面上空間である主第 2 空間には、上記第 2 仮想面によって、上記第 2 間隔を含む副第 2 空間と、上記

第 4 間隔を含む副第 4 空間とに隔てられる請求項 1 または 2 に記載の収容箱。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の収容箱を第 1 収容箱とすると、

この第 1 収容箱、および第 1 収容箱から突き出る収容物の一端を囲い込む囲み縁を含む第 2 底板と、

上記囲み縁を含む上記第 2 底板の縁に沿うようにして、その第 2 底板から立ち上がり、上記囲み縁につながる壁面である囲み壁面を含む第 2 外壁と、

を備える第 2 収容箱、を含む収容箱セット。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の収容箱が、開閉扉の内側面に位置する冷却庫。